

ネットワーク通信 Vol.114 春号



株式会社スカイ 2021年4月20日発行 URL: <https://www.sky-precut.jp/>

■本社 静岡県磐田市上野部2740-5 TEL 0539-63-5500 FAX 0539-63-5633
 ■関東営業所 神奈川県相模原市南区大野台3-25-17 TEL 042-704-6211 FAX 042-704-6212



新たな物流機能構築に向けて

スカイ・スタイルを目指す

弊社は2018年11月に豊岡本社で、翌年4月には関東橋本デポで「一般貨物自動車運送事業」を取得しました。プレカット工場である我々が運送業を取得するに至った背景には、数年前から社会問題化しているトラック運転手不足に直面した経緯があります。特にプレカットの配送は専門的な特殊要因により、運送業者から敬遠される傾向にあるのが現状です。

プレカットの配送は、現場毎の異なる状況により、個別多様な問題が発生します。

積込：毎回形状が異なる製品を、荷姿や降ろす順番で考慮。

日程：天候等に左右される。層選定という風習がある。

搬入：狭小地の増加や、現場までの搬入経路が複雑化。

これらの実情に対し、全て業者任せで放置することは許されません。問題の本質や課題に向き合い、対応策を自ら見出さなければ、本当の改善にはならないからです。

そして、実際に運送業者として配送に従事したことで得られた問題点を基に、次のような具体的な取り組みを実施しています。

- ① 搬入経路を含めた、事前の現場調査を可能な限り実施。
- ② ユニツク車による、2階以上への荷揚げ作業の廃止。
- ③ 土台等1便目に集中する時間

指定を終日配送に切り替え、集中分散させる事で限られたトラックでの配車回転率を向上させる。

引き続き皆様のご理解とご協力を頂き、安全な配送に従事いたします。

〈ドライバー人材育成〉

運送業界では大きな事故が起る度に、ドライバーの拘束時間



関東配送課 自社ユニツク (2021年4月現在)



自身の経験を元に、情報の共有を行っています

の制限等コンプライアンス(法令遵守)の重要性が唱えられ、規制が強化されます。弊社では、定期安全講習会とは別に、事故防止の為の対策会議を実施しています。

事故やミスには様々な原因があり、原因の前には必ず『要因』があります。私達はこの要因を分析し、油断等を含めた「危険予測回避」が習慣化できるよう、社員ドライバー自らが積極的に資料を作成しています。

時には講師役も担い、プロフェッショナルとしての責任と自覚を持つことに努めています。

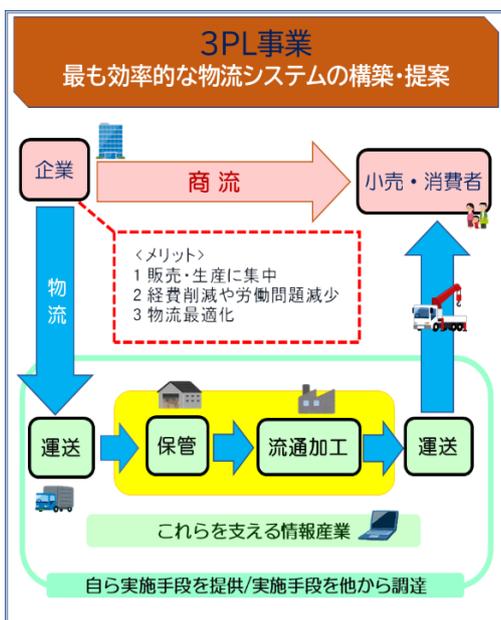
〈3PL事業への取り組み〉

自社製品の配送からスタートした運送事業ですが、プレカットとの同送や帰り便等を有効活用出来るよう、下地・建材等の現場配送も積極的に承っております。また、荷主に代わって在庫管理や配送を行う3PL(サード・パーティ・ロジスティクス)事業も始めました。

年々減少傾向にあるユニツク車を計画的に活用し、ニーズに応じて増車を含めた中長期計画で取り組む方針です。配送でお困りの際には、是非ご検討ください。

物流の合理化は社会的な喫緊の課題です。工場から現場へ物流短絡化を進めることで、お客様の一助となり、新時代の物流を形成していけるよう、最善を尽くして参ります。

営業本部 小島 崇



国土交通省資料参考に作成

墜落防止対策の強化

「フルハーネス型安全帯」を原則義務化

2018年6月に労働安全衛生法施行令が一部改正されました。2022年1月2日の完全施行まで、約1年を切りましたが、皆さん準備は出来ていますか？

木造家屋等の低層建築では、墜落制止用器具（安全帯）を使わずに建て方作業をされる方が多くいらつしやいます。

しかし今回の改正により、安全管理をより意識した建築が求められ、フルハーネス型安全帯を着用した作業に替わります。

現在の墜落制止用器具を使用する場合、水平親綱及び安全ブロックによる作業となります。その結果、現在の多人数による建て方作業は難しくなることが予想されます。多人数の場合、安全帯のロープ同士が交差し、行動範囲が狭まります。更に、ロープが絡むことで、バランスを崩す危険が大きくなります。

今後は少人数による建て方や、安全な作業床を設ける事が主流になるのかも知れません。

改正等のポイント

① 「安全帯」から、「墜落制止用器具」に改正（労働安全衛生法施行令）

○	胴ベルト型(一本つり)
×	胴ベルト型(U字つり)
○	ハーネス型(一本つり)

墜落制止機能の無い「胴ベルト型(U字つり)」は認められません。



② 建設業での5m以上の高所作業は、フルハーネス型安全帯を使用

③ 「フルハーネス型安全帯」を使用する為には、「安全衛生特別教育」が必要

ただし、作業高さが2m以上の箇所で、作業床を設けることが困難な場合に限ります。具体的には、柱上や屋根上、鉄骨上等での作業が対象となります。



④ 現行の「安全帯」を使用できるのは、2022年1月1日までです。

法改正後は、建設現場への安全確認・指導が増加すると思われます。早めの対応準備を進めましょう。

詳細は厚生労働省HP リーフレット参照「安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000473567.pdf>



現場の安全対策に3つの提案

今回の改正を機に、現場での安全対策を別の角度から見直してみませんか？



【提案1】

2階小屋上への合板貼り

低層木造建築では、梁・母屋・垂木の上での作業も多く、危険を伴います。

※一部建設会社では、梁組みの際は作業床に脚立を立て、下からの作業を行っている会社もあります。

現在、2階床には24ミリ以上の厚合板の使用が主流です。しかし、2階小屋上には、ロフトや小屋裏がない限り、ほとんどの場合は合板を貼ることはありません。（構造計算上、水平構面確保のために貼る場合を除く）

作業床として合板を敷くことで構造的にも強くなり、小屋束・母屋・垂木の施工の安全確保が可能になります。

【提案2】

金物工法で

梁上作業を軽減

梁組する際、在来工法（従来の蟻仕口）では、掛矢等で強く上から叩かなければなりません。また、羽子板ボルトの取り付けも、梁上から行いますので、結果的に、梁

上作業が増えてしまいます。この作業軽減には、金物工法をお勧めします。

上から強く叩く必要がなく、梁を入れたら直ぐにドリフトピンを設置出来ます。

【提案3】

スカイパネルで

作業時間短縮

上棟日に雨養生（外部面材貼り）までは終わらせたいものです。しかし、梁上での作業人数には制限がありますので、組立作業の時間は余分にかかってしまいます。

そこで、スカイパネルを使用すると、梁上作業と同時に設置が出来るので、上棟スピードは飛躍的に早まります。また、スカイパネルは真壁仕様なので、施工済みの内部の床合板上（安全な作業床）からの取り付けが可能となり、安全性も上がります。

実際に、32坪の住宅で、朝から柱建てをスタートし、16時頃には屋根・スカイパネルまでの設置が完了しました。弊社の施工部門社員が建て方を行いました。

現場作業者の安全を第一に考慮し、予防という面から、パネル工法や金物工法を選択肢の一つとしてご検討下さい。

東海営業部 花田 裕弘

ベトナム人実習生を紹介します

スカイでは、2019年よりベトナム人実習生の受け入れを実施しています。翌年には、2期生も加わり現在は5名体制となりました。（1期生は第3号技能実習）

定期的な受け入れにより、言葉の通じる先輩がいることで安心して来日出る事、また大切な業務内容は母国語でしっかり伝達出来る事等、大きなメリットがあります。労働条件等、日本人と同等の待遇で迎え、今後も継続して行きたいと思っています。

現在、5人はスカイ社員寮で生活しています。今回は、彼らの生活を少しだけご紹介致します。



<スカイ社員寮>
工場まで、徒歩約3分位です。



<社員寮の共有スペース>

1F共有スペースには、キッチン・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機が完備されています。



金物取り付け・検品
梱包に従事しています。

1人一部屋です。
洋室3帖、DK7帖、
トイレ・バスは別々です。
2Fの部屋には、ロフトもついています。



工場管理部 高橋祐人が
5人を紹介♪

ヒエウは、コミュニケーション能力が高く、誰とでもすぐに仲良くなります。そして、美意識が高いイケメンです!!
髪型やカラーを変えると、画像を送ってきてくれます。
…時々リアクションに困ります(笑)



日本の風景や景色が好きで、実際に親観ることが出来て嬉しいです。家族や友人と会えないのが寂しいですが、頑張っています!!
ベトナムに可愛い彼女がいるらしいですよ…(高橋)



ヒエウ

最年長のカロンは、皆の頼れるお兄さん的な存在です。…のはずが、いじられキャラの愛すべき癒し系です。ここだけの話、、、
女性の通訳さんが来るとテンション上がります(笑)



休みの日は、買い物に行ったり部屋でゲームをしています。社員寮はネット環境が整っているので、ベトナムの家族や友人と連絡を取っています♪



カロン

ホンは、真面目の一言です。日本の事を良く勉強し、2期生の中では一番日本語が上手です。少し不器用な面もありますが、それを補う努力家で、いつも頭が下がります。
冷静沈着で、とても頼りになる存在です。



ホン

スカイは楽しい人が多いですが、仕事には熱心な会社です。休みの日は、散歩したり寮でビールを飲んでます♥



トゥン

トゥンは、体が大きく声も大きいので、一見威圧感があるのですが、実は一番の気配り上手です。誰かが困っていると、すぐに手伝ってくれる仲間想いの優しい人間です。
…なので、重い材料を運ぶとき、トゥンさんに目で訴えるとすぐに手伝ってくれます(笑)



グエンは、一番年下ですが、積極的で行動力があり、共同作業のときはリーダーシップを発揮してくれます!! ただ、長時間机に向かう事が苦手で、我慢のピークが過ぎると1人で夢の世界に旅立ちそうになることがあります(笑)



高橋からもう一言!!
グエンは最近、高橋にちょっかいを出してきます!!
日に日に勢力が増してます!! 懸念してます(笑)



グエン

来日して数カ月後、在留カードを紛失したのですが、日本の方が届けてくれました。日本人は親切です。特に、女の人は綺麗で優しい♥

日本に来て、桜など花が綺麗で感動しました。あと、お酒が美味しいです♪ベトナム料理も美味しいので、是非日本の方に食べて貰いたいです!

日本は大丈夫か？

国際社会からの問いかけ

一酔三幸寮主

近頃、木材価格が急上昇しているらしく、半ば隠居の身としては「面白いことになって来た」と少々興奮気味でもある。

木材暴騰と言えば、中でもオイルショックに先駆けて発生した時の事を思い出す。昭和五〇年代初頭（一九七〇年代後半）の頃である。

記憶を掘り起こし乍らの事だから、精確な年次が示せないけれど、あの時の身振るいするほどのショックは、とても懐かしい。

高騰局面では望外の利益を手にしたが、終局段階で手痛い損失を受けた。

物事には全て原因と結果が連動している。その関連を、その後自分なりに究明しようとしていたものだ。

得た結論らしきものは、結局「需要と供給」の力学という、極めて在り来たりのものでしかなかったのだが、実は、この「需要」についても「供給」についても、学習自得するには奥が深すぎる。

当時の最大の暴騰原因は、一七五万戸という年間住宅着工量にあった。何故それだけの住宅が必要だったのかは別の機

会に触れるとして、前後六〜七年前のうちに千万戸以上の住宅が建てられている。

扱て、今回の上昇要因は何かと見れば、別段日本国内の景気に刺激されているものではない。明確に世界的（地球的）要因と見て良い。世界人口が八十億に迫り、とり分け人口密集地域のアジアでは、中・印で三十億に達する人々の生活上気運がすさまじい。

生活上上と言え、当然「衣食・住」で、特に住環境への欲求は、これからの本格的となる筈だ。

これに対して、日本では、人口減少の傾向もさること乍ら、過去三十年間に亘る資産食ひ潰し政策によって国力の弱体化に努めて来た。この結果の責任は日本人全てが取らねばならぬ。最大の失策は、デフレ脱却と称して「政策的円安」をテコに、安易な経済対策を採ったことだ。

極論で且つ結果論的な表現とはなるが、あの時、超円高に正面から立ち向かって国内の産業構造を一変するような政策を採っていたら、現在の様子は全く異なる様相だったろう、と尽々思う。

当時の日本の力は「ジャパン・アズ・No.1」と言われ、地力のほどはそれなりのものであった筈である。結局、安易な食ひ潰し策で、国内資産を元手とした輸出産業のみが潤うという、一方通行の利潤移行体質になってしまった。

既に一人当りのGDPも次々に諸外国に追い越され、補助金頼みの政・官・民の共喰い体質に慣れ切った日本が、国際資源ともなつた木材の有効対応策など採れる筈も無い。

それは、世界有数の木材資源国である筈の日本の現状を、様々な角度で眺めれば一目瞭然である。

結論…自業自得である。江戸末期か終戦直後に戻れば良いのだ。

【追記】

唐突と思えるかも知れないが、トロイ発掘で有名なシュリーマンの日本旅行記（一八六三年）の一節（日本人の倫理観）を記しておきたい。

「日本の役人に対する最大の侮辱は、たとえ感謝の気持ちからでも、金品を贈ることであり、また彼等の方も、金品を受け取るくらいなら『切腹』を選ぶのである」

新人社員紹介



2021年4月1日、スカイ本社にて厳重な感染対策のもと、入社式を行いました。
今年入社した5人です。どうぞ宜しくお願い致します。



鈴木・D

早く仕事を覚えられるように！ 努力・努力！！



鈴木・Y

まだ仕事についてわからないことだらけなので、先輩たちにたくさん質問をして覚えられよう心掛けます。



小杉・K

趣味はラップです。（yo!）
「韻踏んで」って言われたら踏みます♪



原・A

明るく元気に！



松原・S

一所懸命頑張るので宜しくお願いします。

編集後記

昨今の今頃は、コロナ一色でしたが、今年も「木材高騰と材料不足」という木材業界にとっては、昨年以上の窮地となっております。

現状はまだまだ入口のようですが、我々木材供給側としては、冷静な判断と、取引先各位への安定供給に努めて参ります。

また、私達社員は、いつも以上に入力や加工等業務に注意を払い、材料を無駄にしないよう、出来ることを一つ一つ実行したいと思っております。納期等で大変ご不便をお掛け致しますが、ご理解の程よろしくお願ひ致します。